



学位を授与されました!  
2020年度 卒業生



解剖学  
嵯峨教授



内科学  
綾部教授



母性看護学

左から / 岡村助教・南條助教・田中教授  
跡上准教授・永田助教・加藤講師



老年看護学

左から / 松本助教・草場講師  
古村教授・新助教

看護学科  
教員 &  
事務職員  
紹介



小児看護学

左から / 水落助教・益守教授・藤好講師



精神看護学

左から / 福浦講師・舞弓准教授・松島助教



在宅看護学

隈本助教・渡邊講師



事務職員

左から / 高倉係員・田中(希代子)係員・堀内課長  
長田係員・山下課長補佐・石橋係員



地域看護学

左から / 梶准教授・佐藤准教授・重松教授  
徳澤講師・平田助教



基礎看護学

後列左から / 前野講師・宮本助教・三次助教  
前列左から / 森本教授・加悦准教授



成人看護学

後列左から / 河原田講師・姫野講師・孫田講師  
前列左から / 原教授・三橋教授・桐明准教授

看護学科通信

はなみずき 第57号

Kurume University School of Nursing  
777-1, Higashi-kushihara, Kurume City 830-0003 Japan  
Tel.0942-31-7714 Fax.0942-31-7715



インド・ミティラー地方の  
民族画「スーリヤムッキーの木」



看護学科長 三橋 睦子

人を幸せにする看護を学ぶ

28回生の新入生119名の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年は、これまでに分かってきた効果的な感染防止対策を講じて入学式が挙行されました。大変喜ばしい事です。  
さあ、皆さんは4年間の大学生活に沢山の夢や希望を抱かれています。大いに遊んで、友人と語り、バイトに精を出されることも良いと思いますが、本分は「人を幸せにする看護」を学ぶことです。感染防止対策を守りつつ、どうぞ、周りに目を向け、どういう振る舞いが、人を幸せにするのかを「考え」「行動」できる人になっていただきたいです。  
今ある環境の中で、最善の方法を工夫し、愚直に謙虚に学ばれますことを切望します。  
ようこそ久留米大学医学部看護学科へ



教務委員長 森本 紀巳子

目標達成にむけて着実な学修を!

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。すでに基礎科目の授業が始まり、新しい発見、胸躍らす内容があったでしょうか。  
大学は基本的には皆さんの勉学や課外活動について、自主性と自由を最大限保障しています。皆さんが活発な学生生活を送られることを願っていますが、同時に大学は学びの場であることを自覚してください。  
看護職は、人間のさまざまな側面を理解したうえで、看護を提供しなければなりませんので、看護学の基盤となる知識は重要です。特に1・2年次の科目は、以後の学修に大きく影響します。苦手な科目は粘り強く、頑張りなさいといけません。  
毎回の授業を無駄にすることなく、積極的に着実に学修され、自己の目標を達成されるよう期待しております。

1年生担任 ご挨拶

1年生クラス担任 益守 かづき 担任補佐 三次 貴大  
令和3年度の新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。例年通りではありませんでしたが、4年間共に学ぶ仲間と大学生活の一步を踏み出せたことに安堵しています。健康的な充実した学生生活をお過ごしください。



入学生総代宣誓 有吉 佳穂さん



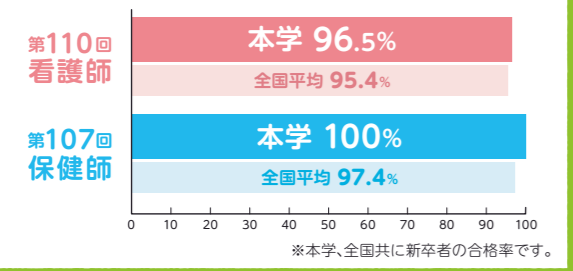
担任補佐 三次 貴大先生・担任 益守 かづき先生

学生委員長 益守 かづき

経験知を力に変換して!

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。皆さまを心より歓迎いたします。新型コロナウイルス感染症による世界規模のパンデミックの中、不確かな生活を強いられ受験勉強を継続することは大変だったことでしょうか。皆さんをお迎える大学も、オンデマンド講義や分散学習、サークル活動などの制限など経験したことがない1年間でした。その過程で、様々な方法を獲得しました。新入生の皆さまも、自分や周囲の方々の生活を振り返り、蓄積した経験知を力に変換してください。経験知を無駄にはせず、人々の健康のこと、生命が脅かされること、生きるために一人ひとりが取り組むことなどについて主体的に学び、看護専門職を目指し充実した4年間をお過ごしください。

2020年度 国家試験成績



オープンキャンパスのご案内

日程  
2021年8月11日(水)  
詳細の情報についてはHPをご覧ください。  
久留米大学 入試情報 検索

編集後記

皆さん、今回ののはなみずきはいかがでしたか。昨年は学校生活においても新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。そのような中で、みなさん一人一人がオンライン授業や実習、様々な活動を通し、精一杯頑張ることができたのではないかと思います。4月からもさらに多くのことを学び、将来の夢に向かって1歩ずつ歩んでいけたらと思います。はなみずきを通して新入生の皆さんは学校生活について少しでもイメージを膨らませることが出来たでしょうか?新たな1年を共に楽しみ、頑張っていきましょう。お読みいただきありがとうございます。

2020年度 学科通信委員

- |                             |                             |                             |   |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|
| 2年生 及川 千穂<br>田中 涼佳<br>松藤 涼香 | 3年生 土肥 綾花<br>高山 水希<br>西嶋 真由 | 4年生 清水 吾衣<br>高田 智佳<br>町川 美羽 | 2020年度 卒業生<br>田中 麻優子<br>田島 澄麗<br>西川 ことみ |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|



令和3年度 新入生集合写真

(新1年生)

### 1年生を終えて

K.S

この1年間は、心から楽しみにしていた入学式や戴帽式、あのか祭が中止となり、本当に大学生になれたのか実感が湧かないまま過ぎてきました。また、講義はオンラインと対面の組み合わせで、戸惑いながら学習を進めました。さらに、課題やレポートの提出にも追われ大変でしたが、仲間と共に励まし合いながら乗り越え、無事に生活援助実習Ⅰまで終えることができました。がむしゃらに走ってきた1年でしたが、少しは成長できたのではないかと思います。



まだまだ先行きが見通せない世の中ですが、この1年での経験を活かして、2年生からの学習も頑張ります。

### 生活援助実習Ⅰ～病棟実習を終えて～

M.A

今年は新型コロナウイルスのこともあり、生活援助実習Ⅱは緊張と不安でいっぱいでした。私が実習した病棟は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんがいらっしやいました。患者さんに直接的な援助を実践することはできませんでしたが、看護師が患者さんに日々どのようなケアを行っているかを見ることができました。



看護師は「この荷物どこ置きますか?」や「暑くないですか?」など、細い所まで気を配られており、生活援助技術Ⅰの演習での学びを結びつけることができました。患者さんへの接し方や他職種との関わり方を見て今後、何事も臨機応変に対応できる看護師を目指して頑張っていきます。

### 就職対策講座を受けて

N.M

就職対策講座は看護師の就職環境、就職試験がどの様に変化しているのか、就職活動の進め方、今から取り組むことなど充実した内容でした。就職活動を早く始めなければと焦る一方で、何から始めればいいのか分かっていませんでした。しかし、自分自身がどのような看護師になりたいのか想像し、自分のしたいことを明確にする事が大切だと学びました。そうする事で自分に合った病院を探すことができ、自身が目指す看護師像に近づくことに繋がるとわかりました。今回の講座を踏まえて、自分を見つめ直し、理想の看護師像に近づける様に就職活動に励みたいと思います。



### 母子健康支援実習を終えて

S.H

私は昨年の11月に周産期母子医療センターにて2週間の臨地実習を行いました。病棟では主に褥婦さんに関わることで、母乳哺育・子宮復古・母親役割の獲得について学びました。その中で、産褥期における身体的・精神的変化を触診やバイタルサインの測定、褥婦さんとの会話時の表情や内容から感じ取ることができました。その他にも、分娩を見学させていただいたり、新生児室では沐浴・おむつ交換・哺乳瓶を用いた授乳を行ったりなど多くの経験ができました。授業や演習で学んだことを活かし、実際に観察やアセスメントを行うことでより実践的な学びにつながりました。



### 生活援助実習Ⅰ～学内実習を終えて～

M.K

生活援助実習Ⅰの学内実習では、患者さん役と看護師役に分かれてバイタルサイン測定の実施と、コミュニケーションの演習を行いました。安全にバイタルサイン測定を行うために留意するべきことや、患者さんの情報を得るための会話、不安にならないような言葉のかけ方を学ぶことができました。患者さんの情報を把握することがアセスメントに直接関与することがわかりました。



臨地実習ができる環境を作ってくくださった方々に感謝し、5日間の学びで得たことを、今後の講義や実習で活かしていけるように頑張ります。

### 新2年生



令和2年3月 生活援助実習Ⅰ

(新2年生)

### 新4年生

### 療養生活支援実習Ⅰを終えて

K.M

療養生活支援実習Ⅰでは、周手術期にある患者さんを受け持たせて頂きました。手術後、患者さんの状態が変化していく中で、術後合併症など起こりうるリスクを日々考えながら回復に向けて関わっていくことの重要性和、その難しさを感じました。特に根拠に基づいたアセスメントや確実な看護援助技術がいかに大切か学ぶことができました。また、退院後の生活を見据えて関わる必要性を感じた実習でもありました。

今後、患者さんの個性にあった看護、患者さんの思いに寄り添う看護が提供できるように、より一層勉学に励みたいと思います。



### 生活援助実習Ⅱを通して

M.H

私は生活援助実習Ⅱで初めて患者さんを受け持たせていただきました。最初はとても緊張しながら患者さんとコミュニケーションを取っていましたが、毎日関わっていく中で患者さんの事がよく分かり、患者さんからも話してくれるようになり嬉しく思いました。日常生活援助の実践では、患者さんへの負担が少ない方法を考え、患者さんに合わせて工夫をする必要があることを学びました。今回の実習を通して、患者さんとの関わり方や個人情報取り扱い方、疾患など様々なことを学びました。実習で学んだことを今後の学習に生かし、知識や技術を身につけていきたいと思っています。



### 新3年生

### 高齢者模擬体験を通して

Y.M

今回の高齢者模擬体験で、高齢者には日常生活を送る中で多くの不便さがあることに気づきました。実際に体験すると、身体が思うように動かず、階段では、人の手を借りながらでないと上り下りが難しく、また視界が狭く、歩行時足元が見えなかったため、段差につまずきそうになったり、階段から落ちるのではないかと不安が常にありました。難聴の体験では、周りの話し声が雑音になり常に耳鳴りがしているように感じました。この経験を通して、どこに何があるという適切な声かけや、周りがざわついているときには話しかけないなど、高齢者にとって生活しやすい配慮が必要であるということを知りました。高齢者の気持ちを理解し、高齢者に寄り添った行動が取れるようになりたいと思います。



### 療養生活支援論Ⅰ—BLS(一次救命処置)を体験して—

G.Y

BLSの演習では、学生が少人数のグループに分かれ担当教員の指導のもとで、傷病者を発見してから救急隊が到着するまでの一連の流れを正確に行えるよう練習しました。胸骨圧迫の正しい位置、深さやリズム、AEDの使い方などを学生同士で確認し合いながら、また、先生方にアドバイスをもらいながら繰り返し練習を行いました。実際の生活の中で、呼吸循環が停止している傷病者に出会ったときに、一次救命処置を実施することは非常に勇気があることだと思いますが、一次救命処置を迅速に行うことで人命救助の可能性は大きくなります。看護学生として知識を活かしていけるよう、日頃の学習を大切にしていきたいと感じました。



### 看護総合演習を終えて

E.M

看護総合演習では、実習時に未実施の看護技術の演習や、事例のアセスメントから援助計画を立案し、ロールプレイを通して学びを深めました。これらの演習を終えて、看護師として根拠をもって看護技術を実施することの大切さ、そして患者さんを生活者として捉え、全人的なケアを行うことの重要性を改めて学ぶことができました。また、看護師になっても常に向上心を持って学ぶことや患者さんの声をしっかり聴くことが必要だと思いました。この演習での学びを忘れず、看護師になった時に活かしていきたいと思っています。



### 2020年度 卒業生

### 卒業論文発表会

T.H

今年は新型コロナウイルスの影響で対面での授業も少ない中であつたため、最初の頃は研究自体が行えるのか、どのようにして行うことになるのかなど分からないことが多くありました。文献研究を行うこととなり、昨年までの違いに悪戦苦闘しながら研究を進めました。研究の期間が短かつたこともありギリギリまで発表原稿やパワーポイントの修正を行いました。最後まで先生方が支えて下さったお陰で無事発表会を終えることができました。本当にありがとうございました。



### 4年間を振り返ってみて

H.R

大学に入学し、勉学、実習に加え、アルバイトや部活などを通じて社会性を身につけることができ、とても充実した4年間でした。特に、臨地実習においては、人との関わりの大切さや、身体の状態に応じた判断が患者さんの命に関わることを学びました。そして、充実した学生生活を過ごすことができたのは、友人たちの存在があったからです。辛い時は励まし合い、楽しい時は笑い合い、苦楽を共にできたことはとてもいい思い出でありみんなに感謝しています。就職しても、この4年間で学んだ知識を活かし、日々努力を忘れず成長して、世の中に貢献できる立派な人間になりたいと思います。

